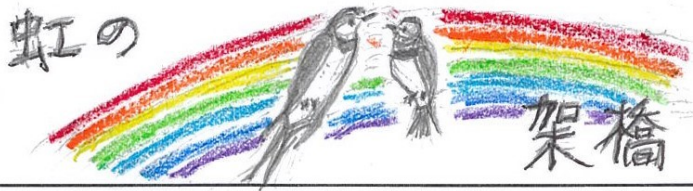


今月の題字
清水祥子さん

(桐生市川内町)

毎月1日に新聞折込に入る「虹の架橋」が楽しみという清水さん。週に2回はご主人と一緒に吾妻山に登っているそうです。素敵な生き方が笑顔にも表れています。



虹の架橋

検索で、インターネットからでもご覧いただけます。

小耳にはさんだ
いい話
(文責・菊)
《350》

世界一幸せな国？

壮大なヒマラヤ山脈の高地に位置するブータン王国は、手つかずの自然がそのまま残り、伝統文化を大切に守り続けている国です。発展途上国ながら国民の幸福度意識が高く、2013年には『世界一幸せな国』として知られるようになりました。ブータンでは、第4代国王が『国民総幸福量(GNH)は、国民総生産(GDP)よりも重要である』と語り、国民も「風雨をしのげる家があり、食べるものがあ、家族がいるから幸

「世界一幸せな国」と答える姿が世界中のメディアで報じられていました。しかし、2019年の世界幸福度ランキングでは、ブータンは世界の156か国中95位にまで下落してしまっただけです。なぜ、わずかの年月でこのような結果になってしまったのか。かつてブータンの幸福度が高かったのは、他国からの情報が入らず、比較する対象がなかったからだと言われています。近年、急速な勢いでSNSなどによる情報が氾濫し、全てのことが比較できるようになってしまったことで、それまで幸せを感じていたことでも、他国や他の国と比べると、人

自分自身と比べることを絶対差と捉え、「相対差の世界で生きていけると本当の安らぎは得られない。比較するのは周囲ではなく昨日の自分。勝つとか負けるという世界ではなく、争わない世界で自分を高めることが大切」と言っています。今、富弘美術館で開催中の企画展『小さなしあわせ』でも「普段は気付かない些細な日常にこそ、私たちが本当に大切にしたい幸せが隠れているのかもしれない」と書いています。



路地裏は昭和のまんま枯すすき
毎朝の日課のウォーキングは、曜日によってコースを変えています。広い道から一歩路地に入ると、そこには丸太の上に裸電球の街灯があったり、手押しの井戸があったり、お稲荷さんがあったり、昔使っていたコンクリート製のごみ箱などもそのまま残っています。昔は路地裏のいたるところから子供たちの声が聞こえてきましたが今は声も姿もなくなり、虫の声だけが昔のままに聞こえてきます。中村草田男の『降る雪や明治は遠くなりにけり』の句と同様に、昭和という古き良き時代もだんだん遠くなっているようです。



第67回関東菊花大会
11月1日(金)～12月1日(日)
9時～16時(最終入園15時半)
一般個人400円、小中学生200円、小学生未満無料
☆大間々ながめ亭菊華寄席
11月2日(土)、3日(日)
9日(土)、10日(日)、16日(土)、17日(日)、23日(土)、24日(日)
第1部12時半 第2部14時

十一月一日から「ながめ公園」で第六十七回関東菊花大会を開催。北関東最大級を誇る菊花の祭典「関東菊花大会」が今年も十一月一日(金)から十一月一日(日)まで、ながめ公園で開催されます。園内では、約千鉢の菊が展示され、菊で飾られた五重塔や富士山など撮影ポイントもたくさんあります。期間中の十一月九日(土)と十日(日)は「みどり市観光物産まつり」を開催、おいしい食べ物や名産品を販売します。小菊の無料配布は各日先着百名。十一月十日は牛乳も無料配布いたします。

恒例の「ながめ亭菊華寄席」は、十一月の毎週土・日に開催。ながめ公園の入園料だけで菊華寄席が無料でご覧になれます。また、SNSフォトコンテストも実施。募集期間は十一月一日から十二月十日。最優秀賞はアマゾンギフト券一万円分、優秀賞はみどり市特産品詰合せが贈られます。



世界一小さな
定利屋
トイレ美術館

今月の絵《350》

平田哲也さん『星に願いを』



今年九月十七日が十五夜でした。我家でも十五夜にはススキを飾り、けんちん汁と月見団子、梨や芋などをお供えて中秋の名月を観るのが子供の頃から続いている習わしです。福岡県みやま市の「てつちゃん」こと平田哲也さんが描いた十五夜の絵には、お地蔵様とウサギと共に「星に願いを」月に祈りを 太陽に感謝を」という言葉が添えられています。明治時代に平塚らいてうが『元始、女性は太陽であった』と言いましたが十五夜の風習を代々受け継いでくれている我家の女性たちは家族の太陽であり、太陽に感謝しています。

令和六年九月十八日(水)
足利屋の定休日。夕方から愛妻と二人で「あいのやまの湯」に行った。ここは赤城山の麓にあり、夜は前橋の夜景が美しい日帰りの温泉施設。この温泉は筋肉痛、慢性消化器病、冷え性、健康増進などに効くと書いてある。大間々から三十分で到着。フロントで年齢を聞かれた。高齢者は夫婦二人で六百二十四。驚くほど安かった。サウナもプールもある。雨降っていたのに露天風呂に入り冷えてしまった。サウナにも入った。サウナの中にテレビがあり、相撲をやっていた。大の望が十一運勝し、両膝にサポータを巻いた宇良が勝って勝ち越した。サウナに二十分も入っていたので冷えは収まったもののせよってしまった。七十歳を過ぎてから冷えのせいか足がふるようになった。夫婦で足利屋の膝サポータをするようになってからは足がつかなくなった。結婚して四十五年。足の冷えも夫婦の冷えも温泉と膝サポータの温めてくれた。



やっちゃんの似顔絵提供…ひさかさん